
2023年度事業報告

(2023年4月1日～2024年3月31日)

概 況

3年以上にもわたる感染症の流行によって大きく変化してしまった私たちの生活環境も、昨年以降は従来のもので戻ってまいりました。長らく実施することのできなかった事業も、今はほぼ全てを行うことができている、激減していた支部事業の回数もコロナ以前の水準に戻っています。1月には、10年ぶりとなる賀詞交換会を公認校主宰者研修会にあわせて開催し、久しぶりに皆さまの笑顔を見させていただきました。

コロナ禍において導入されたオンラインによる講習会が会員の皆さまにも浸透したことで、従来の生活に戻った現在も一定数のオンライン講習を実施しており、地方にお住いの方や、忙しい方等にご好評をいただいているのは怪我の功名とも言えるでしょう。

10年目となった「花の宅配便事業」は全国の盲学校等に通う方々の授業の一環として、生の花に触れていただく事業です。感染症拡大等の影響により中止となった学校もございましたが全国27校で開催することができました。ボランティアとしてご協力いただいた各地域のフラワーデザイナーの皆さまに心より感謝申し上げます。

2月にはフォト作品による「第19回NFD全国高校生フラワーデザインコンテスト」が開催され、高校生の瑞々しい感性、創造性を発揮いただきました。

「全国障害者スポーツ大会」は23回目を数え、鹿児島県での開催となりました。今回は、会員の皆さまのみならず、地元の高中生等も含むたくさんの方々に、表彰者へ贈呈するビクトリーブーケの制作をお手伝いいただきました。ご参加くださった皆さまに御礼申し上げます。協会の取り組みがこうして社会に認知、協力いただけることは長年の継続の賜物であると解し、今後もパラリンピアン活躍を花で後押しする支援活動を続けてまいります。

コロナ禍において講師資格の更新に必要な単位取得が困難であったことから、時限的に無条件での更新を可能としていましたが、来年2025年4月の更新時よりNFD講師、本部講師の更新条件が緩和されることとなりました。現在に至る社会構造の変容に対応し、講師個人や支部委員の方々のご負担の軽減と、公益社団法人としての責務の維持を両立できるよう考慮しています。

皆さまのますますのご理解とご協力の程どうぞよろしくお願い申し上げます。

理事長 西村 好正

各部・委員会報告

部会

総務部（花の図書委員会を含む）＜部長：林喜久江／担当理事：斯波直美・岩橋正樹＞

今年1月、コロナ禍をはさんで6年ぶりに賀詞交換会を開催し、久しぶりに多くの会員や賛助会員の皆さまにお集まりいただくことができました。

また新型コロナの第5類への引き下げ後にも、その他種々感染症が流行しはじめ、各種事業への参加が難しいという方が増えていた状況を鑑み、昨年度に引き続き、2024年度のNFD講師・本部講師の更新単位を不要としました。

各種修了証はこれまでの紙での発行に加え、希望に応じて有料で楕で交付することができるようにしました。

諸規程の改正を行い、役員候補者選挙につづき代議員選挙においても、近年の伝達通信手段の多様化に応じた選挙運動を可能とした他、引き続き法令や社会変容に応じた諸規程の改正、整備を行いました。また、他団体からの後援等の申請、賞交付申請、審査員派遣申請に関する審査を行いました。

花の図書委員会では、会報誌「フラワーデザイナー」の“本の虫”での蔵書紹介を行い、ホームページにて蔵書一覧やサービスの概要を紹介しています。また、選書方針に基づき、新しい蔵書を登録しました。現在の蔵書数は、寄贈本も含め3,156冊です。

会員数（2024年3月31日現在）

（人）

	正 会 員					準会員	特別会員	賛助会員	合 計
	計	1 級		2 級	3 級				
		講師							
国 内	14,048	7,285	3,157	1,739	1,867	225	190	15	14,478
海 外	131	55	23	28	25	1	0	0	132
合 計	14,179	7,340	3,180	1,767	1,892	226	190	15	14,610

NFD講師の数（2024年3月31日現在）

（人）

	北海道	東北	関東 甲信越	東京	中部	近畿	中国 四国	九州 沖縄	海外	合計
特別名誉本部講師	0	0	1	1	0	3	0	1	0	6
名誉本部講師	14	25	92	54	74	111	40	40	0	450
本部講師	20	40	164	88	122	135	89	55	1	714
N F D 講 師	153	356	1,385	738	1,202	1,133	649	500	54	6,170
合 計	187	421	1,642	881	1,398	1,382	778	596	55	7,340

財務部（助成運営委員会を含む）＜部長：上原真理子／担当理事：木村美智子・石崎弥佳＞

予算執行状況及び決算予測を定期的に役員へ報告、年度予算作成については、集計スケジュール、集計方法、集計結果を経営委員会へ提出しました。

2023年10月より導入されたインボイス制度に対応するため、システム改修や業務フローの見直しを行いました。

助成事業「NFD one leaf fund」は目的や効果、事業の継続について見直し中のため募集を行いませんでした。

会員組織部<部長：的場ゆかり／担当理事：森万代子・長谷川栄作>

「令和5年 支部総会」において本部役員が出向し、会員とのコミュニケーションを深めました。なお、施策資料配布の支部も一部ありました。

6月から7月にかけて「支部会計実務説明会」を実施、会計委員を対象として、実務に沿った会計処理の説明会を行い、より細かな理解を深めていただきました。

10月9日、東京にて7年ぶりとなる「令和5年度 全国支部長会議」を開催、43支部が一堂に会しました。支部運営についての説明がなされ、後半には歓談の時間を設け、お互いに支部の現状等、貴重な意見を交換しました。オンライン参加の9支部とも画面越しながらも活発な意見を交わすことができ、今後の支部運営に対して前向きな活路を見出しました。

10月28日から30日の3日間、鹿児島県にて「特別全国障害者スポーツ大会」が開催され、ビクトリーブーケ制作に延べ158名のボランティアが九州各地より参加しました。中でも一般の参加率が7割を超えたことは、メディアへの掲載等で事業の趣旨が広く広報された結果と考えています。また、今回は新しい取り組みとして、県内の農業高校へ事業を案内し、授業の一環として参加がありました。ブーケ制作だけでなく、ミニデモを交えながら協会の概要を説明すると、他の参加者も興味津々で輪に加わり、改めて本事業と本会を知っていただく良い機会となりました。

1月31日、大田区産業プラザにてコロナ禍以降久しぶりに一堂に会した、「令和5年度 公認校主宰者研修会」を開催しました。前半は公認校運営について事前アンケートの協力を得て発表、今後の公認校運営についてさまざまな課題が見られました。後半は資格検定部、資格検定試験基準改正委員会による「フラワーデザイナー資格検定試験推奨花材および代替花材参考リスト」を15テーマの実作品と共に解説を行い、熱気あふれる研修会となりました。

昨年度より延長されていた「体験レッスン割引クーポン配布事業」は、8月31日をもって終了、57校が実施、820名の体験レッスンが行われました。内、公認校への入会者95名、本会入会者10名、資格検定試験受験希望者は19名との結果となりました。

「花とともにプロジェクト」は昨年に比べ2割を超す実施があり、花育講習会等で情操教育の一環として行われました。

資格検定部<部長：副島正英／担当理事：木村美智子・斯波直美>

フラワーデザイナー資格検定試験に関わる事業「フラワーデザイナー資格検定試験」、「審査員新規登録選考会」、「審査研修会」、「審査員新規受験者のための研修会」、「NFD講師新規登録選考会」、「指導者育成ゼミ」、「資格検定試験テーマ レクチャー&デモ」、「構成理論」、プリザーブド、アーティフィシヤル、ウエディング、インドアガーデニングの各種修了証コースの「インストラクター講習会」、「フラワー装飾技能検定試験1級対応講習会」を実施しました。会場への参加が難しい方々にも配慮し、オンライン受講を充実させ、手元がよく見え分かりやすい等の好評を得ました。

NFD講師新規登録選考会では技術確認（レベルチェック）を導入し、NFD講師として一定のレベルに達していないと判断された場合は後日再度の参加が必須となりました。また、NFD講師登録証授与式を花ファッションハウスにて実施、講師資格を生かすためのパネルディスカッション等を行い、同期となる講師や先輩講師との交流を深めました。

その他、資格検定試験普及講師研修会にて、正しい技術の普及と向上、人材育成に努めました。

事業部＜部長：加藤浩美／担当理事：森万代子・石崎弥佳＞

昨年度はこれまで本部事業の実施回数が少なかった都市で開催することを目的に「小松弘典ワールドカップ出場記念講習会」を大阪、松山、鳥栖、「natural materials～素材の魅力」を福井、高松、宮崎で開催。その甲斐あって、数年ぶりに本部事業に参加したという方が多くみられ、好評のうちに終了しました。

また、昨年度に引き続き、ウルズラ・ヴェゲナー氏によるセミナー（上級編・初級編）とレクチャー&デモンストレーションは前回は大幅に上回る受講生が集まり、大好評でした。

「NFD全国高校生フラワーデザインコンテスト」は前回同様、フォト作品で審査。高校生らしく若々しい自由な発想の作品が見事金賞に輝きました。

「第72回関東東海花の展覧会」の当番県は茨城県支部。県産の花をふんだんに使った煌びやかなブース装飾は会場でひときわ目を引いていました。

広報部＜部長：渡辺紀子／担当理事：長谷川栄作・岩橋正樹＞

会報誌「フラワーデザイナー」では、日本フラワーデザイン大賞の上位入賞者の作品を発表する会員参加型企画をスタートしました。作品とともに発想方法等を紹介することで、創作活動のヒントとなりながらも、コンテストへの出展等を啓蒙していく企画としました。また、会員からの応募による2度目のカレンダーを発行し、公認校からは購入希望を募り、手頃な価格で頒布しご利用いただきました。

会報誌に連動したYouTube企画においては、フラワーデザイナー資格検定試験への導入となるように、構成理論を学ぶ動画に力を入れ、2023年の秋頃からは視聴者数を大幅に伸ばしました。

委員会

国際交流委員会＜委員長：西村好正／委員：的場ゆかり＞

10月2日～3月28日にかけてカタール国のドーハで開催された「2023年ドーハ国際園芸博覧会」での日本国政府屋内出展において、3月12日～28日のラストを飾る「メイン展示」制作を本会が受託、実施しました。「メイン展示」のデザインは、花ファッションデザインチームより選抜。日本は会期を通して、「Green Gift from Japan（日本からの緑の贈り物）」を展示テーマとし、屋内出展で「金賞」、屋外出展で「銅賞」を受賞。花き・園芸及び造園業界等関係者のリレー形式で、日本が誇る高品質な花き及び花き文化や、先進的な造園・緑化技術の展示を行い、本会が参加した「屋内出展」には、約200,000名が来場しました。

また、WAF A（世界フローラルアーティスト協会）では、1月31日にオマーン・マスカットでのイベントにあわせてWAF A総会が開催され、本会を代表して役員1名が出席しました。

その他、中国での本部事業はコロナ禍の影響が残り実施することができませんでした。台湾花芸家協会との交流では、4月の総大会、10月の講師新規登録講習会、3月の資格検定試験が行われ、4年ぶりに役員・講師が現地に赴き、友好関係を深めました。

花とともに委員会＜委員長：上原真理子／委員：木村美智子＞

「花の宅配便事業」は、10年目を迎えました。全国27の盲学校で実施、334名の生徒がフラワーデザインを楽しみました。既に学校行事として定着しているところもあり、参加する生徒だけではなく保護者からも喜ばれる事業となっています。指導にあたったボランティア、花材・資材を提供いただいた日本花き卸売市場協会、東京堂、松村工芸、クレイ各社をはじめ、多くの協力で実施することができました。

23校のNFD公認校の協力により「卒業生応援プロジェクト」は、「令和2年7月豪雨」の被災地である熊本県の中学校13校に、812個の卒業生応援コサージュを贈呈することができました。

「ビクトリーブーケ贈呈事業」は、昨年引き続き全日本パラ卓球選手権大会（東京・神戸）にボランティアにより制作されたビクトリーブーケを約200個贈呈しました。

資格検定試験基準改正委員会＜委員長：的場ゆかり／

委員：岡桂子・越水清江・遠藤幹枝・福尾智美＞

前期の資格検定試験花材検討小委員会より引き継ぎ、資格検定試験花材の「より入手しやすい花材」について検討を重ね、日々のレッスンや公認校試験の花材選定に活用できるように、令和5年度公認校主宰者研修会にて、「フラワーデザイナー資格検定試験推奨花材および代替花材参考リスト」を発表しました。あわせて今後の試験関連事業に生かすべく、推奨花材での作品制作及び作品の写真撮影を行いました。また、現行の試験テーマにおける課題について資格検定部と連携し、資格検定試験普及講師との意見交換も行いながら、花材リストの検討、試験関連講習会資料の見直しを図りました。

技術委員会＜委員長：加藤浩美／委員：森万代子＞

(花ファッショントレンド検討会議メンバー：平野博美・長谷川典子・川原陽一郎・伊藤史江・豊田恵子・内藤育子)

花ファッション関連では11月に2023クリスマス、3月に2024スプリングの「シーズンルレッスン」を実施。会場での対面式講習会のほか、昨年度に続きオンラインでも開催し、普段は参加しにくい遠方の方や育児等で家を空けにくいといった方々からの申し込みがある等好評を得ました。

会報誌「フラワーデザイナー」誌上では、広報部と連携し「Flower Styling」として花ファッションと住空間のコラボレーションを提案、ホームページでの「花ファッショントレンド通信」等で花ファッショントレンドを発信しました。その他、花ファッションデザイナーチーム内のトレンドの共通認識を図るための水準調整会を実施しました。

また、テーマに沿って幅広い表現方法を学ぶ講習会「NFDラボラトリー講習会」を3回実施しました。

デジタルPR委員会＜委員長：渡辺紀子／委員：長谷川栄作＞

「花」の持つ癒しや魅力を広め、「花」のある生活の素晴らしさを多くの方に感じてもらうために、初めての方でも楽しめるコンテンツをYouTubeやNFD公式SNS (Facebook、Instagram、X)、NFDメールマガジンで配信しました。

YouTubeでは、eラーニングとは異なり、気軽にフラワーデザインの楽しさに触れる短編動画や、“花と過ごす時間”をテーマにした動画「Spending Time with Flowers」の継続配信も行いました。

資格認定委員会＜委員長：西村好正／委員：的場ゆかり・加藤浩美・渡辺紀子・上原真理子・林喜久江・副島正英＞

正会員の再入会、公認校及び講師資格の新規登録・更新、修了証コースインストラクター登録、試験審査員・コンテスト審査員の新規登録等の承認を行いました。今後も適正、公正な資格認定機関としての委員会運営を推進します。

コンプライアンス委員会＜委員長：渡辺紀子／委員：林喜久江・出口晃・大島誠・山崎修＞

定期的な委員会を開催するとともに、役員・職員へのコンプライアンス研修を企画、実施しました。また、ガバナンス体制をより強化するため、コンプライアンス規程を見直し、改正を行いました。